

事業番号	15 09 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	子どもの運動・スポーツ機会の充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課
		実施期間	S40～	E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興				
	※ 第78回(令和6年)大会以降、国民体育大会(国体)から国民スポーツ大会(国スポ)へ名称変更				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)	【現 状】
	○本県の児童・生徒の体力は、年々向上傾向にあるものの、運動する子としない子の二極化や、全国に比べ体育授業を除く一週間の運動時間が少ないなど、体力向上に向け、全県的に取組を進めていく必要がある。 ○中学校の運動部の活動にあつては、短時間で効率的・効果的な活動に転換する必要があり、教員等の指導力の向上が求められている。 ○幼児期から遊びを通じた運動の習慣化を図る必要がある。
	【目指す姿】
	○子どもたちの運動・スポーツに親しむ機会が充実することで、運動が習慣化され、子どもの体力・運動能力が向上している。 ○運動部活動を充実することで、本県の中高生の体力の向上や、生涯にわたってスポーツに親しむ資質を育成する。 ○幼児期から運動遊びに取り組むことで、体を使った遊びが好きで、屋内外で運動をする元気な子どもたちを増やす。

【実施内容】


○指導者研修、外部指導者の派遣、長野県版「運動プログラム」普及のための講習会の開催 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]

No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)		
								R1年度	R2年度	R1年度
								前年度繰越	0	0
								現計予算	46,327	52,357
								合計(A)	46,327	52,357
								うち一般財源	27,576	29,012
								決算額(B)	33,056	33,388
							職員数(人)	7.00	7.00	

成果指標設定理由	No.1 本県の子どもの体力・運動能力等の状況を把握するため、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査(対象:小5中2の男女)」における体力合計点を指標に設定 No.2 本県の子どもの運動やスポーツに対する関心を把握するため、特に体力面で全国平均を下回っている中学生女子について、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における調査内容の一項目を指標に設定
----------	--

達成状況の分析	No.1 新型コロナウイルスの影響により調査が中止となったため、達成状況の分析はできないが、感染対策を講じながら、地域の運動教室への指導協力やながのスポーツスタジアムの実施等、体育授業時間以外でも運動時間の増加を図る取り組みを行うことで、子どもの体力が低下しないことを目指した。 No.2 新型コロナウイルスの影響により調査が中止となったため、達成状況の分析はできないが、武道等における指導者派遣、課題もある中学校のダンス授業の改善に向けてLDH社と連携して作成した映像教材の配布と活用法の伝達をしていくことで、コロナ禍においても体を動かす楽しさを感じられるような取り組みを行った。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 部活動指導員の任用、外部人材の活用を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な指導による適正な運営と教員負担軽減のため、任用等を実施 ・中学校任用:86校、146名 高等学校活用:69校、98名 ✓ 長野県版「運動プログラム」普及・定着事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの習慣化のきっかけを作る複数の事業を展開 ・令和2年度は要望のあった学校等への派遣を69回実施 ✓ オリンピック・パラリンピック教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・オリ・パラを題材として、スポーツの価値、共生などへの理解を深める事業を展開(令和2年度は推進校を15校指定して実施) 	 <p>長野県「運動プログラム」普及事業(体づくり運動実施の様子)</p>
------	---	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・家庭でも(一人でも)できる映像教材の配信や運動意欲を高めるための学習カードの作成と配布など、子どもたちの運動機会を増やす手立てを講じてきたが、コロナ禍における体育授業の運動種目、休み時間、放課後の遊びの制限による運動量の減少により、体力が低下していることが懸念されている。	・コロナ禍においても、新しい生活様式を踏まえた感染症対策を講じつつ、学校体育授業の改善をはじめ、長野県版「運動プログラム」普及・定着事業の促進や、中学生期の運動機会確保及び活動の充実を図り、運動部活動支援事業等の活用を推進する。

事業番号 15 09 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	子どもの運動・スポーツ機会の充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課
-----	---------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	学校体育指導充実事業費	2,816 千円	3,100 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	直接	本県オリ・パラ推進校にて、スポーツの価値や共生などへの理解を深めるための体験会や講演会を実施し、その実践を県内の公立校へ発信した（推進校15校）
2	学校体育実技指導協力者派遣事業	直接	実技指導の堪能な指導者を小中学校に派遣することで、体育授業の充実を図った（派遣校数：56校）
3	学校体育実技（武道）講習会開催経費	直接	安全で楽しい武道指導の実施のため、武道経験が少ない保健体育科教員等に武道の基本的な知識や技能が身に付くための講習会を開催した（7回）

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	運動部活動改革事業費	29,448 千円	29,265 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	部活動指導員任用事業費補助金	補助金	中学校部活動の専門的な指導による適正な運営と教員負担軽減のため、部活動指導員を任用する市町村に補助した（任用実績：37市町村、86校、146名）
2	外部人材による高等学校運動部活動支援事業	直接	高等学校の運動部活動に、専門的な技術指導力を有する外部指導者を派遣し、地域社会との連携を深めるとともに、運動部活動の充実と活性化を図った（実績：69校、98人）
3	高等学校における部活動指導員任用事業	直接	高等学校における部活動指導体制の充実と教員の負担軽減のため、部活動指導員を配置した（3校、3人）

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	長野県版「運動プログラム」普及・定着事業費	792 千円	1,023 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	「体づくり運動」実技講習会事業	直接	本県の小中学校の課題の体力・運動能力の向上を目指し、専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、授業での活用や一校一運動の充実を図った（講習会：8回）
2	総合型指導者による実技指導	直接	長野県版「運動プログラム」の定着を図るため、総合型地域スポーツクラブの指導者を養成する研修講座を行うとともに、指導者を幼保小に派遣した（派遣：55回）
3	キッズ運動遊びどこでもゼミナール	直接	長野県版「運動プログラム」の運動遊びの普及を図るため、幼保小の教職員、地域指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールを開催した（ゼミナール：6回）